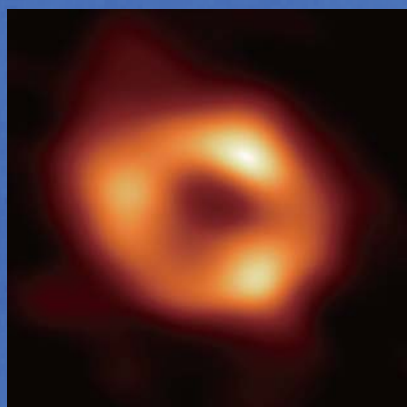




さそり座
【学名】Scorpius 【略符】Sco
星座絵制作 / 大小島 真由

1
2
3 月とレグルスが並ぶ（夕方～21時頃、西の空）
4 休館日
5
6
7 七夕 小暑 月とスピカが並ぶ（夕方南西の空～23時頃西の空）
8
9
10 月とアンタレスが並ぶ（夕方南の空～24時頃南西の空）
11 休館日
12
13 月が2022年中最も近い（35万7264km）
14 2022年最大の満月
15 月と土星が並ぶ（21時半頃南東の空～明け方南の空）
16
17
18 海の日 / 月と木星が並ぶ（23時頃東の空～明け方南の空） プラネ「ブラックホールを探せ!」最終日 キッズ「ベガロクきまぐれ宇宙旅行! わくわく銀河編」最終日
19 月と木星が並ぶ（23時半頃東の空～明け方南の空） 休館日
20 【人類が初めて月に立つ（1969）】 プラネ「太陽のかかく～この夏いちばんアツい星!～」スタート キッズ「ベガロクきまぐれ宇宙旅行! ぐるぐる月旅行編」スタート
21
22 火星食※
23 月とすばるが並ぶ（午前1時頃～明け方、東の空） 大暑
24 月、すばる、アルデバランが並ぶ（午前2時頃～明け方、東の空）
25
26 月と金星が並ぶ（午前4時頃、東の空）
27
28
29
30 みずがめ座δ(デルタ)南流星群が極大※ （見頃は前後数日間の深夜～未明。1時間に5個程度）
31

ブラックホール「いて座 A*」、撮影成功!



▲ いて座 A* 位置 [StellaNavigator / AstroArts で作成]
いて座の方向、太陽系から約2万7000光年離れた距離にある。
◀ いて座 A* 画像 [Credit: EHT Collaboration]
明るいリングの見かけの大きさは、月に置いたドーナツ（直径8cm）ほどしかない。

まだまだ謎の多い天体、ブラックホール。このブラックホールを撮影した画像が、2022年5月12日に発表されました。撮影できたのは天の川銀河の中心部に存在するブラックホールで、いて座の方向にあるので「いて座 A*」と呼ばれています。ブラックホールの撮影成功は史上2例目で、撮影したのは研究者たちの国際プロジェクト「Event Horizon Telescope (略称: EHT)」。撮影といっても一台のカメラで写真を撮るわけではなく、いくつもの電波望遠鏡で同時に同じ天体を観測し、そのデータを処理することで画像が作られています。観測は2017年に行われましたが画像化が大変難しく、5年かかってようやく画像が発表されました。

画像の明るい部分は、ブラックホールの近くのガスが放つ電波を観測した様子です。しかし中央部分は暗く写り、そこに何かがあることを示しています。つまりこの画像は、まわりのガスの様子をとらえることで、ブラックホールの「影」を浮かび上がらせたものなのです。

研究者たちはまだまだ挑戦を続けており、ブラックホールの動画撮影にも挑んでいます。動画化成功のニュースを聞く日も、そう遠くないかもしれません。

